

ごみ減量&資源再利用に取り組もう

市は平成29年度から、集積場所に出されたごみの量や分別状況などを地区ごとに分析しています。お住まいの地区の状況を振り返り、ごみの減量と資源の再利用を向上させるために、できることを考えてみませんか。

【問】資源循環推進課☎626-3733

表の見方

1) 家庭ごみの排出量 1人1日当りに換算	A：473㌔以下（目標値） B：473㌔超～498㌔以下 C：498㌔超～523㌔以下 D：523㌔超
2) 可燃ごみに含まれていた資源の割合	A：21％以下（目標値） B：21％超～26％以下 C：26％超
3) おおむね分別できているごみ袋の割合	A：50％以上（目標値） B：25％以上～50％未満 C：25％未満

※目標値などは、市一般廃棄物処理基本計画で定めています



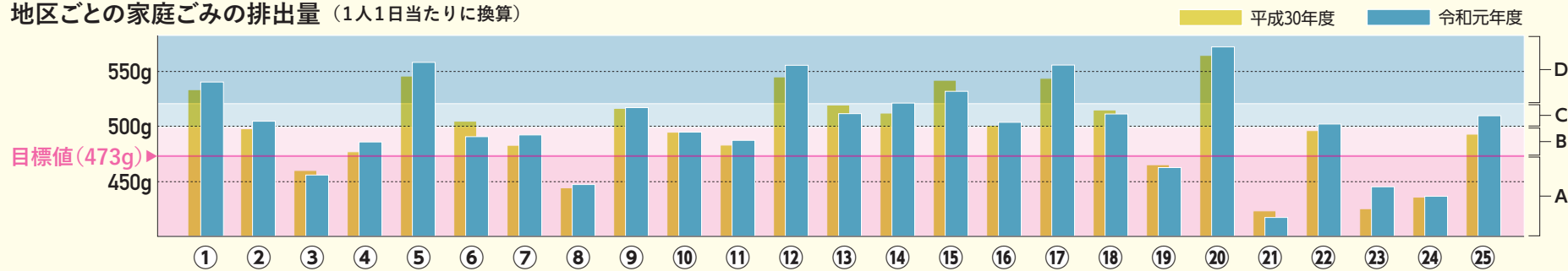
1 あなたの地区のごみの排出状況をチェック！

ごみ減量キャラクター
めぐるちゃん

令和元年度は、平成30年度と比較して可燃ごみに古紙やプラスチック製容器包装などの資源が混ざっている割合は減少しました。しかし、ごみの排出量はごみ収集車17台分に相当する約67㌧も増加しています。地区ごとの排出量は次のとおりです。

② 桜城地区	③ 上田地区	④ 緑が丘地区	⑤ 松園地区	⑥ 青山地区	⑦ みたけ地区
H30 R1 1) C C 506.5㌔ ⁹ 2) B A 20.7% 3) A A 68.0%	H30 R1 1) A A 456.7㌔ ⁹ 2) B B 23.8% 3) C B 32.0%	H30 R1 1) B B 487.3㌔ ⁹ 2) B C 27.2% 3) B A 52.0%	H30 R1 1) D D 561.0㌔ ⁹ 2) A A 19.0% 3) A A 64.0%	H30 R1 1) C B 492.2㌔ ⁹ 2) B C 27.4% 3) B A 74.0%	H30 R1 1) B B 493.8㌔ ⁹ 2) A A 19.1% 3) B A 86.0%
⑧ 北厨川地区	⑨ 西厨川地区	⑩ 土淵地区	⑪ 東厨川地区	⑫ 城南地区	⑬ 山岸地区
H30 R1 1) A A 447.9㌔ ⁹ 2) A B 24.1% 3) A A 72.0%	H30 R1 1) C C 519.1㌔ ⁹ 2) A A 19.6% 3) A B 34.0%	H30 R1 1) B B 496.4㌔ ⁹ 2) B A 14.8% 3) B B 48.0%	H30 R1 1) B B 488.8㌔ ⁹ 2) B B 22.7% 3) A B 40.0%	H30 R1 1) D D 558.3㌔ ⁹ 2) A B 22.0% 3) B B 46.0%	H30 R1 1) C C 513.3㌔ ⁹ 2) A A 20.4% 3) B A 64.0%
⑭ 加賀野地区	⑮ 杜陵地区	⑯ 大慈寺地区	⑰ 上米内地区	⑱ 仙北地区	⑲ 本宮地区
H30 R1 1) C D 523.3㌔ ⁹ 2) B A 14.9% 3) B A 56.0%	H30 R1 1) D D 534.2㌔ ⁹ 2) A B 25.0% 3) B A 68.0%	H30 R1 1) C C 505.5㌔ ⁹ 2) C A 16.2% 3) A A 50.0%	H30 R1 1) D D 558.5㌔ ⁹ 2) B B 21.4% 3) B A 60.0%	H30 R1 1) C C 513.2㌔ ⁹ 2) B A 15.1% 3) B B 46.0%	H30 R1 1) A A 463.6㌔ ⁹ 2) B A 20.5% 3) B B 34.0%
⑳ 太田地区	㉑ つなぎ地区	㉒ 中野地区	㉓ 築川地区	㉔ 都南地域	㉕ 玉山地域
H30 R1 1) D D 575.3㌔ ⁹ 2) B A 18.7% 3) A B 42.0%	H30 R1 1) A A 417.4㌔ ⁹ 2) A A 17.8% 3) A A 62.0%	H30 R1 1) B C 503.9㌔ ⁹ 2) B A 16.3% 3) C B 34.0%	H30 R1 1) A A 445.8㌔ ⁹ 2) B A 17.8% 3) A B 42.0%	H30 R1 1) A A 437.0㌔ ⁹ 2) C C 32.0% 3) B B 36.7%	H30 R1 1) B C 511.6㌔ ⁹ 2) B B 21.2% 3) A A 59.5%

地区ごとの家庭ごみの排出量（1人1日当りに換算）



2 あなたの地区でもやってみよう

ごみの減量や出し方の改善に向けて、さまざまな取り組みが行われています。あなたの地区でもできることから始めてみませんか。

取組事例 ① みたけ地区のレポート

違反ごみステッカーを貼って周知

違反ごみ（分別が不十分、出す日・時間・場所が違う）を出してしまう原因には、ごみ出しのルールを知らないという可能性があります。市で作成しているステッカーを違反ごみに貼ることで、出した人に正しい分別を促し、次回以降の改善につなげるよう取り組んでいます。



ステッカーで正しいごみの出し方を伝えます

取組事例 ④ 本宮地区のレポート

多くの人に伝える

市が開催しているごみの分別説明会を、多くの住民が参加できるよう、草刈りなど地域の行事に合わせて開催しています。ごみ出しのルールを知ることができるだけでなく、分別の工夫や新たな発見があると、幅広い世代に好評です。



朝の草刈りの時間に合わせて説明会を開催しました



3 今からできる1人1人のごみの減量行動

新型コロナウイルス感染症の影響により、テイクアウトの利用に伴うプラスチック製容器包装の使用が増えるなど、家庭ごみに変化が見られていませんか。家庭で増えた資源の分別や減量に、できることをもう一度確認してみましょう。

① 買い物では

- マイバックやマイバスケットを持参し、無駄なレジ袋をもらわない
- 紙バック、トレイなどは店頭回収を活用する
- 割り箸や紙コップなど、一度しか使わない商品を買わない・もらわない
- 簡易包装のものを選ぶ
- リサイクル製品や詰め替え品を選ぶ
- 使う量、食べられる量を考えてから買い物に行く

取組事例 ② 各地区からの声

分かりやすいチラシの作り方

- 多くの人に正しいごみの出し方を伝えるために、次のポイントに意識してチラシを作り、配付しています。
- 1回だけではなく、何回も周知をする
- 班回覧ではなく、全世帯に配付する
- 現状を写真付きで示し、改善点を具体的に書き込む
- 伝えたいことを、大きくはっきり書く
- アパートの敷地内の目立つ場所などに掲示する



取組事例 ⑤ 東厨川地区のレポート

人々の暮らしに寄り添った活動

高齢の人など、ごみ出しに不安を抱えている人たちのお手伝いをしています。新聞や段ボールなど重い資源を玄関先から運び出したり、紙バックなどの店頭回収品を一括で集めてスーパーマーケットに持ち込んでいます。また、分別の仕方について、きれいなまち推進員が直接相談に乗るなど、分別に対する理解度が高まるように取り組んでいます。



ごみ出しに困っている人への相談に乗っています

取組事例 ③ 飯岡地区のレポート

きれいなごみ集積場所を目指して

ごみ集積場所の管理を当番制にすることで、ごみ出しに対して住民全員に意識を向けてもらえるようになりました。また、モップやバケツ、ほうきを備え付け、ごみ集積場所をいつでもきれいに整頓することで、違反ごみを出しにくい環境が維持されるよう心掛けています。



▲いつでも掃除できる環境作りをしています

◀ごみ集積場所を常に整頓しきれいに保っています

取組事例 ⑥ 緑が丘地区のレポート

若い世代への取り組み

授業の一環として町内会活動に中学生が参加。ごみ集積場所の実態調査や分別を啓発するポスターの作製など、地域の活動を実際に体験しています。長年、取り組みを継続してきたことで、当時の中学生が大人になり、家庭での正しいごみの出し方につながっています。



中学生が、分別を呼びかけるポスターを作製し、ごみ集積場所に掲示しました